

2018年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年4月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 アイシン精機株式会社

コード番号 7259 URL http://www.aisin.co.jp/

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 伊原 保守

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福重 友治 TEL 0566-24-8265

定時株主総会開催予定日 2018年6月19日 配当支払開始予定日 2018年6月20日

有価証券報告書提出予定日 2018年6月20日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2018年3月期の連結業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	3,908,937	9.7	253,808	11.0	268,171	13.0	195,346	8.5	134,551	6.2	233,495	32.9
2017年3月期	3,562,622	9.8	228,691	18.7	237,311	22.3	180,031	28.5	126,653	26.2	175,651	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年3月期	490.22	490.09	10.6	7.8	6.5
2017年3月期	444.46	443.98	10.5	7.5	6.4

（参考）持分法による投資損益 2018年3月期 12,204百万円 2017年3月期 7,846百万円

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	3,527,910	1,803,129	1,310,176	37.1	4,861.68
2017年3月期	3,338,339	1,694,864	1,236,385	37.0	4,426.12

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	311,542	△229,346	△73,634	406,508
2017年3月期	394,812	△229,109	△31,617	394,559

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	—	50.00	—	75.00	125.00	35,256	28.1	2.9
2018年3月期	—	60.00	—	90.00	150.00	40,757	30.6	3.2
2019年3月期（予想）	—	60.00	—	90.00	150.00		30.4	

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,950,000	5.1	110,000	1.8	117,000	0.7	53,000	△5.4	196.67
通期	3,980,000	1.8	255,000	0.5	270,000	0.7	133,000	△1.2	493.52

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）フェノックス・ベンチャー・カンパニー第20号有限責任組合
除外 1社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2018年3月期	294,674,634株	2017年3月期	294,674,634株
2018年3月期	25,184,075株	2017年3月期	15,336,453株
2018年3月期	274,473,074株	2017年3月期	284,960,908株

(参考) 個別業績の概要

2018年3月期の個別業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	852,420	5.5	29,794	267.8	78,968	69.8	69,139	124.2
2017年3月期	808,200	△0.7	8,101	△61.8	46,519	△22.5	30,837	△24.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期	251.90	251.83
2017年3月期	108.22	108.10

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2018年3月期	1,606,071		520,471		32.4	1,931.32		
2017年3月期	1,509,860		515,970		34.1	1,845.47		

(参考) 自己資本 2018年3月期 520,471百万円 2017年3月期 515,510百万円

(注) 個別業績における財務数値については、日本基準に基づいています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点での入手可能な情報に基づく将来予想が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や為替変動等内外の状況の変化により、大幅に異なる可能性があります。これらに関する事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結財政状態計算書	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
(3) 連結持分変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の自動車業界を取り巻く事業環境は、北米、中国といった大規模市場において、新車販売台数が増加したことにより、世界全体としては堅調に推移しました。国内においても、小型車を中心に新型車や改良車の販売が好調となり、前期を上回る販売台数となりました。

住生活関連業界では、日銀のマイナス金利政策等を受けた低金利の長期化により、前期に増加した新設住宅着工件数が今期も維持するなど、個人消費に底堅い動きが見られました。

このような状況の中、当社グループは「真の競争力を身につけ、新たな価値を提案できる元気な会社」をめざし、グループ競争力の強化、革新的な技術開発、ものづくり力の強化など競争力強化に向けた取り組みを推進しました。

売上収益については、オートマチックトランスミッションや車体部品の販売が世界的に好調であったことや、アート金属工業株式会社を子会社化したことなどにより、前連結会計年度（3兆5,626億円）に比べ9.7%増の3兆9,089億円と過去最高となりました。

利益については、原材料価格の上昇や償却費の増加、前年にシロキ工業株式の交換差益があったことなど減益要因があったものの、売上増や為替差益などにより、営業利益は前連結会計年度（2,286億円）に比べ11.0%増の2,538億円と過去最高益となりました。なお、税引前利益は前連結会計年度（2,373億円）に比べ13.0%増の2,681億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前連結会計年度（1,266億円）に比べ6.2%増の1,345億円といずれも過去最高益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産については、投資有価証券の時価評価額が増加したことなどにより、前連結会計年度末（3兆3,383億円）に比べ5.7%増の3兆5,279億円となりました。負債については、社債及び借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末（1兆6,434億円）に比べ4.9%増の1兆7,247億円となりました。資本については、前連結会計年度末（1兆6,948億円）に比べ6.4%増の1兆8,031億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況について、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、営業活動により3,115億円の増加、投資活動により2,293億円の減少、財務活動により736億円の減少、現金及び現金同等物に係る換算差額により33億円の増加の結果、当連結会計年度末には4,065億円となり、前連結会計年度末（3,945億円）に比べ119億円（3.0%）の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前連結会計年度（3,948億円）に比べ832億円（21.1%）減少し、3,115億円となりました。これは、税引前利益が308億円増加したものの、営業債務及びその他の債務の増減額が1,054億円減少したことなどによりです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、前連結会計年度（2,291億円）に比べ2億円（0.1%）増加し、2,293億円となりました。これは無形資産の取得による支出が82億円減少し、有形固定資産の取得による支出が81億円減少したものの、定期預金等の増減額が99億円増加したことや、前連結会計年度に連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収支が91億円あったことなどによりです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、前連結会計年度（316億円）に比べ420億円（132.9%）増加し、736億円となりました。これは、借入とその返済による収支が127億円増加したものの、配当金の支払額が201億円増加したことに加え、自己株式の取得による支出が103億円増加したことや、社債の発行による収入が100億円減少したことなどによりです。

(4) 今後の見通し

当社グループが身を置く自動車業界では、ゼロエミッションや自動運転技術の進化、コネクティッドカーの普及、クルマが所有するものから利用するものへ変わるといったライフスタイルの変化に加え、ITや電機などの異業種からの参入、大幅な燃費・排ガス規制の強化など、競争相手もルールも目まぐるしく変わり、モビリティ社会や自動車産業の構造は、『100年に一度の大変革期』を迎えています。

そのような中、当社グループはオートマチックトランスミッションの事業が好調に推移しており、当面は成長を見込んでいます。

次期の業績見通しについては、為替レート1USドル=105円、1人民元=16.6円の想定のもと、売上収益3兆9,800億円、営業利益2,550億円、税引前利益2,700億円、親会社の所有者に帰属する当期利益1,330億円を見込んでいます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的にIFRSを適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	394,559	406,508
営業債権及びその他の債権	572,189	621,863
その他の金融資産	99,428	88,575
棚卸資産	276,955	295,787
その他の流動資産	42,194	51,093
流動資産合計	1,385,326	1,463,828
非流動資産		
有形固定資産	1,248,933	1,294,225
無形資産	43,951	40,045
持分法で会計処理されている投資	104,528	112,979
その他の金融資産	434,351	485,108
繰延税金資産	101,590	109,646
その他の非流動資産	19,656	22,075
非流動資産合計	1,953,012	2,064,082
資産合計	3,338,339	3,527,910
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	801,913	796,318
社債及び借入金	64,829	86,893
その他の金融負債	37,401	37,381
引当金	23,791	25,660
未払法人所得税等	37,400	30,774
その他の流動負債	30,669	33,083
流動負債合計	996,005	1,010,112
非流動負債		
社債及び借入金	393,935	430,650
その他の金融負債	9,536	9,603
退職給付に係る負債	173,955	190,679
引当金	3,248	3,650
繰延税金負債	57,542	72,206
その他の非流動負債	9,252	7,879
非流動負債合計	647,469	714,669
負債合計	1,643,474	1,724,781
資本		
資本金	45,049	45,049
資本剰余金	71,822	71,826
自己株式	△56,983	△115,835
その他の資本の構成要素	110,597	147,874
利益剰余金	1,065,900	1,161,260
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,236,385	1,310,176
非支配持分	458,478	492,952
資本合計	1,694,864	1,803,129
負債及び資本合計	3,338,339	3,527,910

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上収益	3,562,622	3,908,937
売上原価	△3,048,541	△3,371,980
売上総利益	514,080	536,957
販売費及び一般管理費	△309,124	△289,542
その他の収益	45,839	18,408
その他の費用	△22,103	△12,014
営業利益	228,691	253,808
金融収益	13,103	14,241
金融費用	△12,330	△12,083
持分法による投資利益	7,846	12,204
税引前利益	237,311	268,171
法人所得税費用	△57,279	△72,825
当期利益	180,031	195,346
当期利益の帰属		
親会社の所有者	126,653	134,551
非支配持分	53,378	60,794
合計	180,031	195,346
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	444.46	490.22
希薄化後1株当たり当期利益(円)	443.98	490.09

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
当期利益	180,031	195,346
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	1,810	△1,945
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	3,830	35,453
持分法適用会社のその他の包括利益持分	164	31
合計	5,805	33,540
純損益に振替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純変動	△74	181
キャッシュ・フロー・ヘッジ	835	581
在外営業活動体の換算差額	△9,866	4,687
持分法適用会社のその他の包括利益持分	△1,080	△841
合計	△10,185	4,609
その他の包括利益合計	△4,380	38,149
当期包括利益	175,651	233,495
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	124,887	170,091
非支配持分	50,763	63,404
合計	175,651	233,495

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	確定給付 制度の 再測定	その他の資本の構成要素			
					その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 純変動	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	
2016年4月1日残高	45,049	61,862	△18,035	—	154,823	△2,844	△36,628	115,349
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	1,543	3,819	833	△7,962	△1,765
当期包括利益	—	—	—	1,543	3,819	833	△7,962	△1,765
自己株式の取得	—	—	△49,086	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	10,242	10,137	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△359	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	76	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	△1,543	△1,442	—	—	△2,985
所有者との取引額合計	—	9,959	△38,948	△1,543	△1,442	—	—	△2,985
2017年3月31日残高	45,049	71,822	△56,983	—	157,200	△2,011	△44,591	110,597

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2016年4月1日残高	964,727	1,168,953	389,515	1,558,468
当期利益	126,653	126,653	53,378	180,031
その他の包括利益	—	△1,765	△2,614	△4,380
当期包括利益	126,653	124,887	50,763	175,651
自己株式の取得	—	△49,086	—	△49,086
自己株式の処分	—	20,380	4,340	24,721
新株予約権の失効	—	△359	—	△359
剰余金の配当	△28,466	△28,466	△13,164	△41,630
連結範囲の変動	—	—	20,275	20,275
支配継続子会社に対する 持分変動	—	76	6,746	6,823
利益剰余金への振替	2,985	—	—	—
所有者との取引額合計	△25,481	△57,455	18,199	△39,256
2017年3月31日残高	1,065,900	1,236,385	458,478	1,694,864

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	確定給付 制度の 再測定	その他の資本の構成要素			合計
					その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 純変動	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	
2017年4月1日残高	45,049	71,822	△56,983	—	157,200	△2,011	△44,591	110,597
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1,200	35,475	582	682	35,540
当期包括利益	—	—	—	△1,200	35,475	582	682	35,540
自己株式の取得	—	—	△59,465	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△126	613	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△339	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	470	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	1,200	536	—	—	1,736
所有者との取引額合計	—	4	△58,851	1,200	536	—	—	1,736
2018年3月31日残高	45,049	71,826	△115,835	—	193,212	△1,429	△43,908	147,874

	親会社の所有者に帰属する持分			
	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
2017年4月1日残高	1,065,900	1,236,385	458,478	1,694,864
当期利益	134,551	134,551	60,794	195,346
その他の包括利益	—	35,540	2,609	38,149
当期包括利益	134,551	170,091	63,404	233,495
自己株式の取得	—	△59,465	—	△59,465
自己株式の処分	—	487	38	525
新株予約権の失効	—	△339	—	△339
剰余金の配当	△37,453	△37,453	△24,389	△61,843
支配継続子会社に対する 持分変動	—	470	△4,579	△4,108
利益剰余金への振替	△1,736	—	—	—
所有者との取引額合計	△39,190	△96,301	△28,930	△125,231
2018年3月31日残高	1,161,260	1,310,176	492,952	1,803,129

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	237,311	268,171
減価償却費及び償却費	197,168	213,430
負ののれん発生益	△19,807	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△40,703	△47,194
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△20,424	△15,939
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	79,471	△26,007
その他	16,687	△684
小計	449,702	391,776
利息の受取額	1,575	2,537
配当金の受取額	13,561	14,690
利息の支払額	△7,127	△7,030
法人所得税の支払額	△62,899	△90,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	394,812	311,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の増減額 (△は増加)	8,736	△1,210
有形固定資産の取得による支出	△263,388	△255,245
有形固定資産の売却による収入	8,941	6,318
無形資産の取得による支出	△18,246	△10,004
投資の取得による支出	△11,405	△8,194
投資の売却及び償還による収入	19,425	20,107
リース債権の回収による収入	14,460	15,837
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△8,395	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	17,529	—
その他	3,232	3,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229,109	△229,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△7,150	4,392
長期借入れによる収入	81,611	69,751
長期借入金の返済による支出	△43,965	△30,872
社債の発行による収入	30,000	20,000
社債の償還による支出	△35	△35
リース債務の返済による支出	△10,029	△11,998
自己株式の取得による支出	△49,086	△59,465
配当金の支払額	△28,474	△37,437
非支配持分への配当金の支払額	△13,170	△24,387
その他	8,682	△3,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,617	△73,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,744	3,386
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,342	11,949
現金及び現金同等物の期首残高	263,217	394,559
現金及び現金同等物の期末残高	394,559	406,508

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、当社及び中核となる国内子会社（以下、「中核子会社」という。）がグループを構成しており、取り扱う製品及びサービスについて、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

従って、当社グループは当社及び中核子会社を頂点とするグループを基礎とした製品及びサービス別のセグメントから構成されており、各報告セグメントの名称及び各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりです。

報告セグメント	主な製品及びサービス
アイシン精機グループ	自動車部品全般及び付随サービス、住生活・エネルギー関連、建設土木及び石油販売等
アイシン高丘グループ	主としてエンジン、ブレーキに関する鋳造部品
アイシン・エイ・ダブリュグループ	主としてオートマチックトランスミッション及びカーナビゲーションシステム
アドヴィックスグループ	主としてブレーキ部品

2. 報告セグメントに関する情報

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	連結
	アイシン 精機 グループ	アイシン 高丘 グループ	アイシン・ エイ・ ダブリュ グループ	アドヴィッ クス グループ	計			
売上収益								
外部顧客への 売上収益	1,353,101	172,060	1,408,580	517,379	3,451,122	111,499	—	3,562,622
セグメント間の 内部売上収益	288,872	101,017	22,526	38,086	450,502	91,561	△542,063	—
計	1,641,973	273,078	1,431,107	555,466	3,901,625	203,061	△542,063	3,562,622
セグメント利益	80,593	12,320	122,942	6,119	221,975	5,629	1,086	228,691
金融収益								13,103
金融費用								△12,330
持分法による投資利益								7,846
税引前利益								237,311

(注1) 「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

(注2) セグメント間の内部売上収益は、市場価格、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいています。

(注3) セグメント利益は、営業利益をベースとした数値です。

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	連結	
	アイシン 精機 グループ	アイシン 高丘 グループ	アイシン・ エイ・ ダブリュ グループ	アドヴィッ クス グループ	計				
売上収益									
外部顧客への 売上収益	1,472,370	181,750	1,591,233	547,603	3,792,959	115,978	—	3,908,937	
セグメント間の 内部売上収益	303,927	113,970	30,016	38,964	486,879	105,551	△592,430	—	
計	1,776,298	295,721	1,621,250	586,568	4,279,838	221,529	△592,430	3,908,937	
セグメント利益	78,031	11,982	141,958	10,127	242,099	12,503	△794	253,808	
金融収益									14,241
金融費用									△12,083
持分法による投資利益									12,204
税引前利益									268,171

(注1) 「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

(注2) セグメント間の内部売上収益は、市場価格、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいています。

(注3) セグメント利益は、営業利益をベースとした数値です。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益は、以下の情報に基づいて算定しています。

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
基本的1株当たり当期利益算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	126,653	134,551
親会社の普通株主に帰属しない当期利益 (百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	126,653	134,551
期中平均普通株式数(千株)	284,960	274,473
基本的1株当たり当期利益(円)	444.46	490.22
希薄化後1株当たり当期利益算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	126,653	134,551
当期利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	126,653	134,551
期中平均普通株式数(千株)	284,960	274,473
新株予約権による普通株式増加数(千株)	306	71
希薄化後期中平均普通株式数(千株)	285,267	274,545
希薄化後1株当たり当期利益(円)	443.98	490.09

希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
新株予約権(個)	—	—

(重要な後発事象)

中国カーメーカーとの合弁会社の設立

(1) 設立の理由

当社の子会社であるアイシン・エイ・ダブリュ株式会社（以下、「アイシン・エイ・ダブリュ」という。）は2018年4月24日、中国カーメーカーの広州汽車集団乗用車有限公司（以下、「広州汽車」という。）及び浙江吉利控股集团の浙江吉利羅佑発動機有限公司（以下、「吉利汽車」という。）とそれぞれ合弁で、中国にオートマチックトランスミッション（AT）の生産会社の設立に関する契約を締結いたしました。

アイシン・エイ・ダブリュは、中国において2004年から中国第一汽車集团公司との合弁会社でATの生産を開始しました。今回、広州汽車、吉利汽車の2社それぞれと新たに設立する合弁会社では、両社ともにFF6速ATを年間40万台規模で生産する計画です。

今後は、合弁会社を通して、広州汽車、吉利汽車との長期的な関係を構築し、中国におけるパワートレイン事業の競争力向上をめざしていきます。

(2) 子会社の概要

① 広州汽車との合弁会社の概要

所在地	広東省広州市
会社設立時期	2018年内
資本金	117百万米ドル アイシン・エイ・ダブリュ 60% 広州汽車 40%
事業内容	FF6速ATの生産、販売
生産能力	年間40万台
生産開始時期	2020年内

② 吉利汽車との合弁会社の概要

所在地	浙江省
会社設立時期	2018年内
資本金	117百万米ドル アイシン・エイ・ダブリュ 60% 吉利汽車 40%
事業内容	FF6速ATの生産、販売
生産能力	年間40万台
生産開始時期	2020年内